悠子 助教 栗田

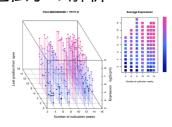
応用生命化学専攻 放射線植物生理学研究室

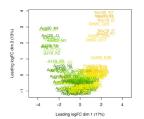
野外と実験室内系を組み合わせて樹木の季節的な輸送を理解する

野外の季節現象の研究には時間とコストがかかるため、私たちは実験室内で短期間 に季節現象を再現する短縮周年系を開発し、野外と実験室内双方からのアプローチ で樹木の季節的な栄養元素輸送メカニズムの解明を目指しています。



RNA-Seqを用いた季節発現変動 遺伝子の解析





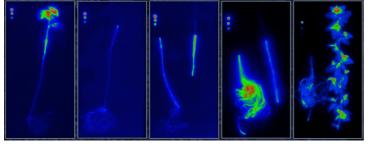


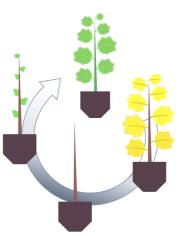
ICP-MSによる多元素分析

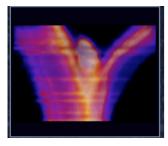
実験室内の 短縮周年系



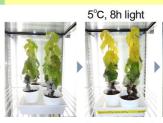
放射性同位体を用いた 輸送の追跡・定量







Stage 1 Stage 2 25°C, 14h light 15°C, 8h light (1 month)







(1 month)

(2~3 months)

Stage 3

(bud burst: 1-2 week)